

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170500021		
法人名	社会福祉法人 鶴丸会		
事業所名	グループホーム・ユートピア		
所在地	伊万里市大川町大川野字赤坂1647番地		
自己評価作成日	平成25年9月25日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html">http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成25年10月22日	外部評価確定日	平成25年11月19日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症高齢者が共同居住形態の場において介護を受けながら、各自ができる範囲で、介護者と共に洗濯たたみ、掃除など行い、家庭的な雰囲気の中で共同生活を送り、一人一人が出来る事の支援を目指しています。

(理念)

ありのままに穏やかに！  
ゆったりと楽しく自由に！  
残された力で暮らしの喜びと自由を！  
地域の方との交流！

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

のどかな田園風景の中に施設はある。創設から9年目となるユニットと平成25年8月から運営が始まったユニットの二つのグループホームがある。地区の消防団の協力を得ながら夜間に防災訓練を実施するなど地域密着、地域との交流を模索されている。大事にしていることは個人個人の残存能力を生かした生活を支援すること。利用者と職員との共同作業を楽しむ日々である。

# 自己評価および外部評価結果

【セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。】

自己	外部	項目	自己評価/(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価/(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I. 理念に基づく運営</b>							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関に掲示しており、毎日の申し送りの中で認識し、日々のケアの中で実践している。	理念は玄関に掲示しており、毎日の申し送りの中で認識し、日々のケアの中で実践している。	職員全員が地域密着型サービスをいつも意識し、できるだけ地域交流の機会が多くなるよう取り組んでいる。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	1月・鬼火焚き 8月・夏祭り参加 施設広報紙を区の全世帯へ配布	1月・鬼火焚き 8月・夏祭り参加 施設広報紙を区の全世帯へ配布	地域の行事には積極的に参加している。施設広報紙を区の全世帯へ配布することについては入居時に家族の了解を得ている。学校のボランティアを積極的に受け入れている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議のメンバーに地域住民の方が増えて、地域とのつながりが増えてきた。	運営推進会議のメンバーに地域住民の方が増えて、地域とのつながりが増えてきた。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月毎に確実に開催し、利用者の家族や市の担当者、地域の区長や地域住民、消防団など多数参加されるようになり、議事録も詳細に作成されている。運営推進会議で出された意見はスタッフ間で話、サービスの向上に努めている。	運営推進会議は2ヶ月毎に確実に開催し、利用者の家族や市の担当者、地域の区長や地域住民、消防団など多数参加されるようになり、議事録も詳細に作成されている。運営推進会議で出された意見はスタッフ間で話、サービスの向上に努めている。	回を重ねるごとに地域からの参加者が増えており、貴重な意見をもらっている。これからは利用者の意見も届くような会議のあり方を考えられている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の担当者が運営推進会議のメンバーでもあり意見を聞いたり、相談事にも応じ即座に対応でき連携はできている。	市の担当者が運営推進会議のメンバーでもあり意見を聞いたり、相談事にも応じ即座に対応でき連携はできている。	実際のケアの様子も見てもらっている。なんでも相談できる関係づくりはできている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関や窓の施錠はしておらず、身体的拘束をしないように実践している。やむを得ない時はご家族に同意を得ている。	玄関や窓の施錠はしておらず、身体的拘束をしないように実践している。やむを得ない時はご家族に同意を得ている。	鍵をかけない暮らしの大切さは充分認識されているが事故予防のためにどうしても施錠することもある。見守り、声掛け、ケアの見直しなどに取り組むことでできるだけ鍵をかけないケアが行われている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議の中で話し合ったり、研修への参加も検討したい。	会議の中で話し合ったり、研修への参加も検討したい。			

自己	外部	項目	自己評価/(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価/(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	これまで研修で受講したり、今後も研修など予定があった場合は参加したい。	これまで研修で受講したり、今後も研修など予定があった場合は参加したい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居申し込みの際、十分な説明を行い施設内見学をして頂き、契約をもらっている。	入居申し込みの際、十分な説明を行い施設内見学をして頂き、契約をもらっている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。ご家族様の面会時に話しやすい雰囲気づくりに心掛けている。運営推進会議でも要望などを聞くようにしている。	玄関に意見箱を設置している。ご家族様の面会時に話しやすい雰囲気づくりに心掛けている。運営推進会議でも要望などを聞くようにしている。	意見箱に家族からの要望など入ることは無いため面会の折にお茶を出してゆっくり話のできる雰囲気づくりに留意している。出された意見は大切な宝としてミーティングで話し合い、反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、スタッフミーティングと全体会議の中で意見を出し合い検討している。	毎月、スタッフミーティングと全体会議の中で意見を出し合い検討している。	スタッフ会議、全体会議は全員参加で行われている。管理者は職員の意見や要望を聞くよう心がけている。不満や苦情は言いがたい部分も多いので把握しきれしていない可能性もある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員は質の向上のためにも認知症勉強会を月に1回実施している。できるだけ研修への参加をすすめている。	職員は質の向上のためにも認知症勉強会を月に1回実施している。できるだけ研修への参加をすすめている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は法人の研修会や市内で行われる研修にも参加。	職員は法人の研修会や市内で行われる研修にも参加。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国認知症グループホーム協会佐賀県支部に加入し、他のグループホームとの交流を持つことでサービスの質の向上を目指している。	全国認知症グループホーム協会佐賀県支部に加入し、他のグループホームとの交流を持つことでサービスの質の向上を目指している。		

自己	外部	項目	自己評価/(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価/(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様との会話を通し、スタッフに心を聞いてもらい、そこから不安な事、要望をとらえている。ご家族様から聞くようにしている。	利用者様との会話を通し、スタッフに心を聞いてもらい、そこから不安な事、要望をとらえている。ご家族様から聞くようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族との初期面接時に、出来るだけ詳しく話を聞くようにしている。ご家族様が安心できるような言葉かけを行っている。	ご家族との初期面接時に、出来るだけ詳しく話を聞くようにしている。ご家族様が安心できるような言葉かけを行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に十分な聞き取りと入居して一週間は本人の事を十分に観察し、サービスを検討している。	入居前に十分な聞き取りと入居して一週間は本人の事を十分に観察し、サービスを検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様と掃除したり、新聞折したり活動と一緒にしている。	入居者様と掃除したり、新聞折したり活動と一緒にしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お盆・お正月などは出来るだけ家族と過ごして頂けるように外泊を勤めている。	お盆・お正月などは出来るだけ家族と過ごして頂けるように外泊を勤めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	会話の中から馴染みの場所を聞いたりして、ドライブや外食などで、その場所へ行ったりしている。	会話の中から馴染みの場所を聞いたりして、ドライブや外食などで、その場所へ行ったりしている。	馴染みの美容院に行かれている利用者や墓参りに出かけられる利用者が居られる。隣接するデイサービスからは馴染みの知人や友人の訪問があり関係継続の支援が行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションには全員参加される為、利用者さん同士のコミュニケーションがとれている。	レクリエーションには全員参加される為、利用者さん同士のコミュニケーションがとれている。		

自己	外部	項目	自己評価/(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価/(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院となり退所されるケースが多く、その後も病院に面会と行ったり家族と会った際には様子を聞いている。	入院となり退所されるケースが多く、その後も病院に面会と行ったり家族と会った際には様子を聞いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自ら思いを訴える人もいらっしやるので、その支援を行っている。	自ら思いを訴える人もいらっしやるので、その支援を行っている。	裁縫が得意な人には衣服の修復を手伝ってもらっている。日々のかかわりの中で一人ひとりの気持ちに耳を傾け寄り添っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に家族・本人から詳しく聞くようにしている。面会来訪時にも必ず話している。	入居時に家族・本人から詳しく聞くようにしている。面会来訪時にも必ず話している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	残存機能の活用を重視し、一人一人の状態に合わせた支援をしている。	残存機能の活用を重視し、一人一人の状態に合わせた支援をしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者さんについては会議時に十分な話をして、その人らしい支援計画を作成している。	入居者さんについては会議時に十分な話をして、その人らしい支援計画を作成している。	定期的見直しだけでなく 現状に即した介護計画の見直しがお行われている。計画作成者とスタッフの共同作業となっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録を共有して、実践している。	ケース記録を共有して、実践している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居時、退居時には居宅介護支援事業所に協力してもらっている。	入居時、退居時には居宅介護支援事業所に協力してもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価/(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価/(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察・消防・地域への広報を配布している。	警察・消防・地域への広報を配布している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望があれば、かかりつけ医の受診可能である。スタッフ同伴にて受診した際は必ず結果報告している。	希望があれば、かかりつけ医の受診可能である。スタッフ同伴にて受診した際は必ず結果報告している。	利用者や家族の希望するかかりつけ医、専門医への受診の支援が行われている。原則は家族対応となっているが不可能な時には職員が付き添っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当施設には、看護職員がいない為、日中は隣接しているデイサービスの看護師に相談し協力してもらっている。	当施設には、看護職員がいない為、日中は隣接しているデイサービスの看護師に相談し協力してもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には頻回に病院へ行ったり、連携室との連絡を取り合っている。	入院時には頻回に病院へ行ったり、連携室との連絡を取り合っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化する前に早い段階で医療機関へ相談するようにしている。	重度化する前に早い段階で医療機関へ相談するようにしている。	看取りについて検討しており、利用者や家族の意向を踏まえ、安心して納得した対応をその都度話し合っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急処置の研修(BLS研修)などに参加している。	救急処置の研修(BLS研修)などに参加している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を実施して、先日は実際に夜間での避難訓練を行う。	定期的に避難訓練を実施して、先日は実際に夜間での避難訓練を行う。	午後7時から夜間避難訓練を実施し、地区の消防団など地域から20名ほどの参加がある。訓練を定期的に行い地域との協力体制を築いている。	

自己	外部	項目	自己評価/(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価/(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人を大事にして、敬意をもって利用者様に接している。さりげない言葉かけやケアに配慮している。	一人一人を大事にして、敬意をもって利用者様に接している。さりげない言葉かけやケアに配慮している。	人生の先輩としての気持ちを忘れずに馴れ合いの中で尊厳を無視した対応にならないような接遇を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	レクリエーションでは、本人が希望される事を聞いたりして、行っている。	レクリエーションでは、本人が希望される事を聞いたりして、行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい生活を支援できるよう努力している。	その人らしい生活を支援できるよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節、気温に応じた衣類をその人に似合ったおしゃれを支援している利用者自身に選んでもらっている。	季節、気温に応じた衣類をその人に似合ったおしゃれを支援している利用者自身に選んでもらっている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は全員の方がほぼ完食される。その人が食べやすい工夫をしている。季節の食材を取り入れている。	食事は全員の方がほぼ完食される。その人が食べやすい工夫をしている。季節の食材を取り入れている。	隣接するデイサービスの食事を配食してもらっている。日曜日は利用者とスタッフが一緒に献立を考え作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養に関しては一日で食材を多種類使っている。水分は必要な量を摂取されている。	栄養に関しては一日で食材を多種類使っている。水分は必要な量を摂取されている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後全員に口腔ケアを確実にし、自分で出来るだけ行っていたり、不十分な部分は支援している。夕食後は義歯は洗浄剤に浸けている。	毎食後全員に口腔ケアを確実にし、自分で出来るだけ行っていたり、不十分な部分は支援している。夕食後は義歯は洗浄剤に浸けている。		

自己	外部	項目	自己評価/(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価/(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表をつけている為、個々の排泄パターンを把握している。昼夜とも排泄誘導を行っている。	排泄チェック表をつけている為、個々の排泄パターンを把握している。昼夜とも排泄誘導を行っている。	排泄パターンを把握し見計らって誘導することでトイレで排泄できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく薬に頼らず、食事・水分・運動で排泄を促している。定期的な排泄はあっている。	なるべく薬に頼らず、食事・水分・運動で排泄を促している。定期的な排泄はあっている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	一日おきに入浴して頂き、発汗・汚染時にはその都度対応している。	一日おきに入浴して頂き、発汗・汚染時にはその都度対応している。	午後の時間が入浴時間となっている。個浴での対応である。気持ちよく入用してもらうため入浴剤など活用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様が眠くなるまではリビングにて過ごしてもらい、強制する事はない。部屋の温度調節。	利用者様が眠くなるまではリビングにて過ごしてもらい、強制する事はない。部屋の温度調節。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情綴りを共有し理解している。症状に変化がある時は受診したり、主治医に相談している。	薬情綴りを共有し理解している。症状に変化がある時は受診したり、主治医に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の生活の中で個々の希望する事をやってもらえるように支援している。毎月一回程度は外食・ドライブを行っている。	毎日の生活の中で個々の希望する事をやってもらえるように支援している。毎月一回程度は外食・ドライブを行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気が良い日は外に出たり、買い物やドライブに出かけている。	天気が良い日は外に出たり、買い物やドライブに出かけている。	日常的に買い物や散歩など出かけている。職員と利用者1:1で支援している。買い物は好みのものを選んでもらい自分の財布から支払ってもらう。月1回はバスでみんなで遠出を楽しんでいる。	

自己	外部	項目	自己評価/(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価/(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時に自分で選べる人は選んでもらうも、お金まで払える人がいない。	外出時に自分で選べる人は選んでもらうも、お金まで払える人がいない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が希望された時はいつでも支援できる体制をとっている。	本人が希望された時はいつでも支援できる体制をとっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には季節の花を飾ったり、その月の作品を置き、音や光には配慮している。	共有空間には季節の花を飾ったり、その月の作品を置き、音や光には配慮している。	季節の花を飾り季節感を大事にしている。家具やテレビの位置など利用者の動きを妨げない配慮がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	建物の間取り上、設置できない。	建物の間取り上、設置できない。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドとタンスは備え付けで、他には何でも持参して良いことになっている。	ベッドとタンスは備え付けで、他には何でも持参して良いことになっている。	馴染みの物の持込をの少ない方も居られ、レクリエーションで作った作品を居室に飾ったり、年末には自作のカレンダーを作るなど利用者の心地よい環境づくりに努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや居室は分かりやすくしている。	トイレや居室は分かりやすくしている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果			
		ユニットA	ユニットB	↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と	
				2. 家族の2/3くらいと	
				3. 家族の1/3くらいと	
				4. ほとんどできていない	
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように	
				2. 数日に1回程度ある	
				3. たまに	
				4. ほとんどない	
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている	
				2. 少しずつ増えている	
				3. あまり増えていない	
				4. 全くない	
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が	
				2. 職員の2/3くらいが	
				3. 職員の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
				2. 利用者の2/3くらいが	
				3. 利用者の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が	
				2. 家族等の2/3くらいが	
				3. 家族等の1/3くらいが	
				4. ほとんどいない	